

- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

安全上のご注意

- ここに示した **⚠ 注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 注意

- ・排水には十分注意してください。
凍結防止する機能が働いて流れ出した水が地面で凍結し、すべってけがをするおそれがあります。
- ・冬期間はホースを水栓につないだままにしないでください。また、水栓の下には十分な空間を確保してください。ホース内での凍結または、水栓吐水口部での凍結で機能がはたせなくなります。
- ・何か異常を感じた場合は、販売店または当社にお問い合わせください。
- ・こまパッキンの清掃および交換時以外は、分解・改造をしないでください。
器具が破損し、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

しくみ・仕様

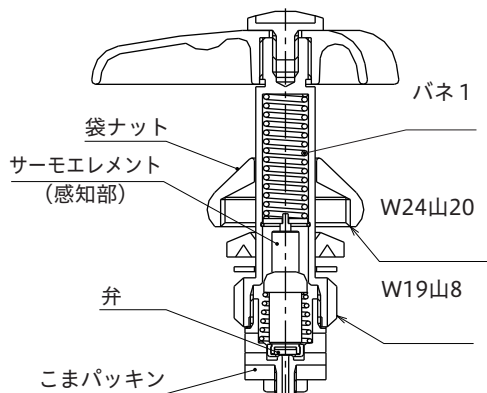
【しくみ】

平常時の使用法は普通の水栓と全く同じです。

止水の状態では周囲温度が下がると、サーモエレメントが温度を感知して弁が押し上げられ水が排出されます。排出される水の温度が上昇すると、弁が押し付けられ閉弁し止水します。

【仕様】

- 使用温度：-15℃～80℃
- 開弁温度：1.7±0.7℃
- 閉弁温度：4.5℃以下
- 作動時流量：450mL/分以上
(雰囲気温度0℃、流体温度0℃、
給水圧力0.05MPaの場合)
- 使用圧力：0.04～0.75MPa



故障ではありません

■水栓を閉めても水が止まらない

- ・凍結防止のため一度開いた弁は、感知部の水温が4.5℃以上に上がらない場合は止水しないことがあります。
- ・こまパッキンにゴミが噛んでいると水が止まらなくなることがあります。
取り付け時と同じ要領で袋ナットをはずし、内部のゴミを取り除いてください。(裏面参照)
- ・こまパッキンが破損した場合、水が止まらなくなることがあります。市販のこまパッキンと交換してください。
- ・上記作業をする場合は、必ず元栓を閉めてください。

株式会社KVK

インターネットホームページ <http://www.kvk.co.jp/>

- 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

安全上のご注意

- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



注意

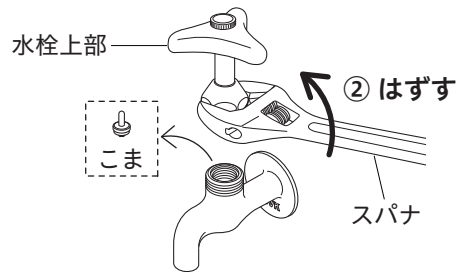
- ・本品を取り付けの際は、必ず元栓を閉めて作業してください。
- ・本品は給用水栓にご使用ください。（給湯用水栓にはご使用できません。故障の原因となります。）

取り付け前に

- ・給水圧力 0.04～0.75MPaであること。
- ・水道水本管の水温（水栓を開けて1～2分後の水温）が4.5℃以上あること。
- ・外気温度が-15℃以上であること。
- ・家庭内の水栓に取り付ける場合、水栓の周囲温度が1.0℃以下にならず、屋外の温度がマイナスになるような場所では使用できません。（凍結を防止する機能が働かないうちに、屋外の配管が凍結する場合があります。）

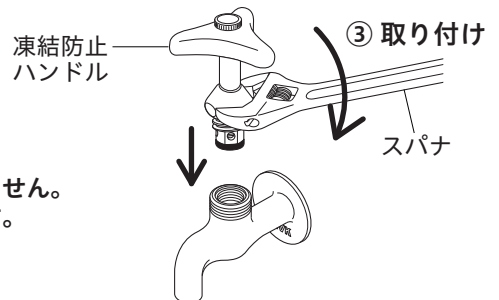
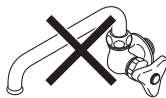
取り替え方法

- ① 水道の元栓を閉めます。
- ② お使いの水栓上部をスパナで取りはずします。
（こまがある場合は抜き取ってください）
- ③ 凍結防止ハンドルを水栓にスパナで取り付けます。
- ④ ハンドルを止水状態になるように手で閉めます。
- ⑤ 元栓を開いて水漏れがなければ取付完了です。



【お願い】

- ・横水栓には使用しないでください。
- ・水栓の先端にホースを付けた状態で使用しないでください。
ホース内の水が凍結し凍結防止の効果が得られません。
- ・流し台・洗面ボウル等のフタ・栓をしないでください。
水があふれ、財産損害発生のおそれがあります。
- ・家庭内の蛇口に取り付ける場合、蛇口の周辺温度が1.0℃以下にならず、屋外の温度がマイナスになるような場所では使用できません。
不凍こまが働かないうちに屋外の配管が凍結する場合があります。



※メーカーによっては、取り付けができない場合があります。